

# 電動車の海外生産・販売を次々と開始。

三菱自動車は、気候変動・エネルギー問題への対応に向け、重点的に電動車の開発、普及とその社会的活用を促進しています。その一環として、タイやインドネシアでの生産、販売を開始しました。

## クロスオーバー MPV 『エクスパンダー』『エクスパンダー クロス』HEVモデル

PHEV派生のHEVシステムによって、電動車ならではの気持ちよく安心・安全な走りを実現

『エクスパンダー』は、MPVならではの居住性と多用途性、SUVらしい力強いスタイリングと走りの特長としたクロスオーバーMPVで、2017年にインドネシアで発売した後、アセアン、中南米、中東などに展開を拡大し、2019年には最上位モデル『エクスパンダー クロス』を追加しました。

今回追加したHEVモデルは、三菱自動車・タイランドのレムチャバン工場生産。三菱自動車得意とする電動化技術と四輪制御技術を融合することで、『エクスパンダー』シリーズの魅力を一層高め、PHEVから派生した新開発のHEVシステムによって、電動車ならではの環境に優しく気持ちのよい走りを実現するとともに、独自の四輪制御技術による意のままに安全・安心な走り、多彩なドライブモードによる天候や路面状況に応じた最適な走りを提供します。また、HEVでありながら任意でEV走行を選択できるため、早朝の閑静な住宅街でエンジン音が気になる時など、シチュエーションに応じた走りを可能とします。

### 主な商品特長

- PHEV派生のHEVシステムによる、環境に優しく爽快で力強いモータードライブ
- 積極的なEV走行と様々な天候や路面で安心・安全の走行性能を実現する、新開発の7つのドライブモード
- 家族や仲間とのドライブをより快適にする室内空間と、特別感を演出する専用エクステリアアクセント



『エクスパンダー』HEVモデル



『エクスパンダー クロス』HEVモデル

## 軽商用電気自動車『ミニキャブEV(現地名：L100 EV)』

商用でのラストワンマイルのCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献

三菱自動車・モーターズ・クラマ・ユダ・インドネシアで生産を開始した『ミニキャブEV』はワンボックスタイプの軽商用EVです。駆動用バッテリーをフロア中央の床下に配置するなど荷室容量を犠牲にすることなくEVコンポーネントを搭載することで、大容量な荷室の確保と、低重心化による優れた操縦安定性、良好な乗り心地を実現しています。また高出力のモーターは荷物をたくさん積んで重くなった状態でも、電気自動車ならではのスムーズかつ力強い走りです。高い静粛性を実現し、早朝や深夜でも周囲に気兼ねなく走行することもできます。

2050年のカーボンニュートラル社会の実現に向けて各方面で脱炭素化の取り組みが加速し、物流関係や自治体など軽商用電気自動車の需要が一層高まっているなか、三菱自動車は『ミニキャブEV』とともにCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献します。

### 主な商品特長

- 20kWhの駆動用バッテリーを搭載し充電あたりの航続距離は180km(WLTCモード)
- AC200V(15A)での普通充電では約7.5時間で満充電
- 急速充電の場合、約42分で80%までの充電が可能(急速充電器の最大出力電流が60A以上の場合)



『ミニキャブEV』